

問1 北アメリカ大陸において、二つの大洋を結ぶ目的で1850年代から建設が進められた鉄道に関する記述として、歴史的・地理的背景を踏まえて正しいものはどれですか。 (2023年 東京都公立入試 類似)

1. パナマ運河が開通するまでは貿易上の重要な役割を担っていたが、運河開通後は役割が変化し、現在は観光資源にもなっている。
2. 当初から観光目的で建設されたため、パナマ運河開通後もその利用者数や経済的な役割に変化は見られなかった。
3. シベリア鉄道に対抗して建設されたため、冬場の積雪による運休を避ける目的でパナマ運河に全機能を移転した。
4. アメリカ合衆国の独立直後に建設が始まり、1914年のパナマ運河開通と同時にすべての運行を終了した。

問2 多民族国家であるアメリカ合衆国において、近年人口構成の中で急速に割合を高めている、メキシコや中南米諸国からの移民とその子孫を何と呼びますか。主にスペイン語を使用しているという特徴を踏まえて名称を答えなさい。 (2021年 沖縄公立入試 類似)

1. ヒスパニック
2. アングロサクソン
3. イヌイット
4. アボリジニ

問3 主要な農業国の統計において、穀物自給率が100%を超え、トウモロコシの生産量が世界最大規模である一方で、羊の飼育頭数はオーストラリアなどと比較して少ないという特徴を持つ国はどこですか。 (2019年 島根公立入試 類似)

1. アメリカ合衆国
2. ブラジル
3. カナダ
4. 中国

問4 アメリカ合衆国における人口構成の特色について述べた文として、アフリカ系住民の分布状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)

1. かつて綿花などのプランテーション農業が盛んだった南東部の諸州において、人口に占める割合が高い。
2. メキシコとの国境に近いテキサス州やカリフォルニア州などの南西部において、人口に占める割合が高い。
3. アジアに近い地理的条件を持つハワイ州や、西海岸の都市部において、人口に占める割合が高い。
4. 五大湖周辺の工業地帯から、サンベルトと呼ばれる北緯37度以南の地域へ一貫して移動・集中している。

問5 アメリカ合衆国の農業地域区分を示した資料において、トウモロコシの主な栽培地域が小麦の栽培地域よりも南東側の、年平均気温が高く年降水量が多い領域に位置している理由として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)

1. トウモロコシの栽培には、小麦よりも温暖で湿潤な気候条件が適しているため。
2. トウモロコシは乾燥に強いため、降水量の少ない地域から優先的に栽培が広まったため。
3. 小麦は熱帯由来の作物であり、トウモロコシよりも高い気温を必要とするため。
4. トウモロコシ地帯は山岳地帯に位置しており、標高の影響で降水量が多くなるため。

問6 北アメリカ大陸の西海岸、サンフランシスコ近郊に広がる産業集積地について、その産業構造の特徴を説明したものと最も適切なものを選びなさい。 (2023年 佐賀公立入試 類似)

1. 半導体や集積回路の設計、ソフトウェア開発など、高度な知識と技術を必要とする産業が集中している。
2. 五大湖周辺の鉄鉱石と石炭を結びつけ、自動車や鉄鋼を大量生産する重工業が中心となっている。
3. メキシコ国境付近の低賃金労働力を利用した、衣類や生活雑貨などの労働集約的な軽工業が盛んである。
4. 肥沃な黒土と適度な降水量を背景に、大規模な機械化による小麦やトウモロコシの商業的農業を行っている。

問7 主要な5か国の経済指標を比較した際、1人あたりのGNI (国民総所得) が約58,000ドルと最も高く、国民の生活水準が高い一方で、輸出総額 (約145万百万ドル) よりも輸入総額 (約224万百万ドル) が大幅に上回っている国名と、その貿易状況を示す語句の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)

1. アメリカ合衆国 — 貿易赤字
2. アメリカ合衆国 — 貿易黒字
3. アルゼンチン — 貿易赤字
4. アルゼンチン — 貿易黒字

問8 世界の主な農産物の輸出量において、ロシアが16.8%、アメリカ合衆国が13.9%、カナダが11.2%を占めて上位3か国となっている穀物があります。北アメリカの中央平原などで大規模に栽培されているこの農産物として正しいものはどれですか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 小麦
2. とうもろこし
3. 大豆
4. 綿花

問9 アメリカ合衆国とインドのICT産業における協力関係について、その地理的背景を説明した文として正しいものはどれですか。 (2019年 大分県公立入試 類似)

1. 地球の自転に伴う経度の差を利用して、24時間体制の開発ネットワークを構築している。
2. 赤道を挟んで南北に位置する関係を利用して、季節の違いによる電力消費の差を調整している。
3. 同じ経線上に位置しているため、時差による混乱がなくスムーズな情報伝達が可能である。
4. 極地に近い高緯度地域同士の連携により、通信衛星を通じたデータ送信が最短距離で行える。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 パナマ運河が開通するまでは貿易上の重要な役割を担っていたが、運河開通後は役割が変化し、現在は観光資源にもなっている。	この鉄道は、広大な北アメリカ大陸をまたいで大西洋側と太平洋側の物流を直結させるために建設されました。1855年の開通当初から貿易ルートとして重宝されましたが、1914年に開通したパナマ運河は、大量の貨物を積み替えなしに輸送できるという利点があったため、鉄道の貿易における優位性は失われました。しかし、鉄道自体が消滅したわけではなく、その希少性や歴史性が評価され、現代では観光客を惹きつける資源として存続しています。
問2	答え 1 ヒスパニック	アメリカ合衆国では、地続きであるメキシコや、同じ南北アメリカ大陸に位置する中南米諸国からの移住者が急増しています。彼らはかつてスペインの植民地であった地域から来ているため、主にスペイン語を話すという共通点があります。現在、アメリカ国内ではアフリカ系住民の人口割合を超越、最大のマイノリティグループとなっています。
問3	答え 1 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国はトウモロコシや小麦、大豆の生産において世界トップクラスであり、これらを飼料や輸出に充てているため、穀物自給率は極めて高いのが特徴です。一方、羊の飼育については乾燥帯が広がるオーストラリアの方がより盛んであり、農産物の生産統計から国を特定する際の大きな判断材料となります。
問4	答え 1 かつて綿花などのプランテーション農業が盛んだった南東部の諸州において、人口に占める割合が高い。	アメリカ合衆国のアフリカ系住民は、歴史的に奴隷として連れてこられた背景があり、労働力として必要とされた南東部のプランテーション地帯に多く居住してきました。現在でも、ミシシッピ州やジョージア州など南東部の諸州では、アフリカ系住民の割合が15%を超えるなど、他の地域に比べて高い傾向にあります。これに対し、南西部に多いのはヒスパニック（スペイン語圏からの移住者とその子孫）です。
問5	答え 1 トウモロコシの栽培には、小麦よりも温暖で湿潤な気候条件が適しているため。	アメリカ合衆国の農業は、自然環境に応じた合理的な生産体制をとっています。トウモロコシは小麦と比較すると、夏季の気温の高さと一定以上の降水量を必要とする作物です。そのため、年平均気温の等温線や年降水量の境界線で見ると、トウモロコシ地帯は小麦地帯よりも低緯度（南側）かつ、大西洋やメキシコ湾からの湿った空気の影響を受けやすい東側の領域に形成されています。
問6	答え 1 半導体や集積回路の設計、ソフトウェア開発など、高度な知識と技術を必要とする産業が集中している。	この地域は、単なる工場の集積ではなく、研究開発や設計に重点を置いた「先端技術産業（ハイテク産業）」の拠点です。情報通信技術（ICT）に関わるベンチャー企業から巨大IT企業までが集中し、新しい技術革新（イノベーション）が常に起こる仕組みが構築されています。
問7	答え 1 アメリカ合衆国 — 貿易赤字	アメリカ合衆国は、高度な産業発展により1人あたりのGNIが非常に高い水準にありますが、旺盛な国内消費を背景に製品の輸入額が輸出額を大きく上回る状態が続いています。このように、輸入額が輸出額を上回る状態を「貿易赤字（輸入超過）」と呼び、世界最大の経済規模を持ちながら巨額の赤字を抱えているのが同国の大きな特徴です。
問8	答え 1 小麦	ロシア、アメリカ合衆国、カナダの3か国で世界の輸出量の約4割を占めているのは小麦です。小麦は乾燥に比較的強く、北アメリカの中央平原や、ロシアからウクライナにかけての黒土地帯（チェルノーゼム）などで広範囲に栽培されています。とうもろこしや大豆もアメリカが主要な生産・輸出国ですが、ロシアが輸出の首位となっている点が小麦を特定する大きな指標となります。
問9	答え 1 地球の自転に伴う経度の差を利用して、24時間体制の開発ネットワークを構築している。	地球は15度の経度差ごとに1時間の時差が生じますが、アメリカとインドのように経度が大きく離れた地域同士では、この時差が業務上のメリットとして機能します。アメリカで開発がストップする夜間の時間を、ちょうど日中を迎えるインドでの作業時間に充てることで、開発期間の短縮や24時間の保守管理体制を実現しています。これは、グローバル化が進む現代における、地理的条件を逆手に取った産業連携の代表例です。